



道 標

第9号

令和5年9月11日発行



受験プランを立てよう ～自分の受験プランを考える～

進路に関わる情報については、埼玉県教育委員会や各高校のHP等から最新情報を手に入れ、確認をお願いします。
受験にあたっては、自分のやりたいこと、夢や希望が実現できるかなど、3年間通うことを意識して志望校を選んでいきましょう。
第一志望校が公立高校か私立高校かによって、その受験プランも変わってきます。以下の点を参考にしてください。

①原則として公立高校は1回しか受けられない

埼玉県公立高校は、「一般募集入学者選抜」の1回しか受検の機会がありません。したがって、公立高校を複数受検することはできません。公立高校に入学したいと考えている場合は、どの高校を受検するか慎重に選ぶ必要があります。（ただし、出願後に志願倍率等を見て、1回だけ志願先を変更できます。）

②私立高校を複数受験する場合は受験日に注意

埼玉県内の私立入試は1月22日～24日に集中しています。私立高校を複数受験する場合は、受験日が重なっていないことを確認しておきましょう。受験日を複数設定している私立も多いので、上手にスケジュールを組んでください。

③受験区分に気をつける

私立入試では、おおむね「単願・併願・一般」などの受験区分があります。受験区分によって入試日が異なる場合もあるので、スケジュール立ての際にも注意が必要です。

④併願校の選び方

併願校には合格の可能性が高い学校を選びましょう。もし併願校を複数受験する場合でも、少なくとも1校は、合格の可能性が高い学校を選ぶことです。個別相談では、合格の可能性や合格の可能性を高める方法などを相談できます。必ず参加しましょう。

⑤併願校に入学することになっても、3年間前向きに通える学校を選ぶ

受験は何が起こるかわかりません。そのため併願校は「行くことになったとき、後悔しないで3年間通うことができる高校」でなければなりません。その学校で過ごす高校生活を具体的に想像して、第二・第三志望校も、入学後に前向きに通える学校を選びましょう。

◎公立高校が第一志望の場合

公立高校は、多くの私立学校とは異なり、入試相談などはありません。そのため、たとえどんなに学力レベルで余裕があると思われる学校でも決して油断せず、併願校へ入学することも十分視野に入れたうえで慎重に検討しましょう。

◎私立高校が第一志望の場合

私立高校が第一志望の場合、「単願推薦」「単願入試」制度を積極的に利用しましょう。多くの私立高校が推薦の目安を設けていますので、事前の個別相談会などにおいて合格の可能性を聞くことができます。また、単願入試であっても、当日の試験で不合格になることもあるので、十分な対策と準備をしておきましょう。

※裏面に奨学金等の案内を載せてあります。

《古岡奨学会 奨学生募集のお知らせ》

- (1) 応募条件 ①次年度4月に高等学校への入学希望者。
②母子家庭の子女。
③経済的な理由により高等学校での修業が困難と認められる者。(年収の上限…350万円)
④基礎学力と向上心があり、困難に打ち克つしなやかな心を持ち、将来社会に貢献できる能力を有している者。(9教科平均4.0以上)
- (2) 支給額 3か年にわたり支援(総額736,000円)
- (3) 規定 全日制高校、高等専門学校に限る。(通信制・定時制高校は不可)

※推薦書提出期限が10/31(火)まで(必着厳守 消印有効)なので、希望する人は早めに担任の先生に申し出てください。

《あしなが育英会 高校奨学生予約募集について》

- (1) 申請資格 保護者(父または母など)が、病気や災害、自死などで死亡または保護者が1~5級の障がい認定を受けていて、経済的な援助を必要としている中学3年生。
- (2) 募集人員 650人程度
- (3) 申請締切 2023年12月15日(消印有効)
- (4) 奨学金の内容 給付型
「私立高校入学一時金(希望者のみ30万円)」「進学支度一時金(希望者のみ40万円)」は無利子貸与型。貸与分は卒業の半年後から20年以内に返還。
- (5) 奨学金の金額 月額給付3万円
- (6) 奨学金を受けられる期間 2024年4月分から卒業まで。
- (7) 手続き 「高校奨学生申請書」など必要書類を郵送(申請書はあしなが育英会のホームページからダウンロード可)

※詳しくは担任の先生まで

《教育支援資金貸付のご案内》

社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会より教育支援資金と他制度についての案内が配付されています。校内にもポスターが貼ってありますので、参考にしてください。